



南市民センターだより

編集・発行 鶴ヶ島市南市民センター

鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘375-1

TEL 287-0235

Mail 10400040@city.tsurugashima.lg.jp

絵本「つるがしま物語」

作者を迎えての講演会

1月25日(土)

14時～15時30分

(受付13時30分～)

南市民センター



主催：南市民センター・鶴ヶ島市第二地区青少年健全育成推進協議会・飯能信用金庫

協力・協賛：鶴ヶ島第二小学校区地域支援会協議会・つるがしま中央地域支援会協議会・南市民センター利用者の会・鶴ヶ島ロータリークラブ

鶴ヶ島市出身の伊藤有沙さんが美術大学卒業時に制作した、旧石器時代から今に至る鶴ヶ島の暮らしや文化を描いた作品が全10冊の絵本となりました。「本作品を通して、現在の鶴ヶ島ができるまでの変遷をたどり、このまちに紡がれてきた『想い』を感じて頂けると幸いです」と話す伊藤さん。講演会の内容は、「つるがしま物語」の朗読、伊藤さんご自身の想いを含めた意見交換会となります。

鶴ヶ島市民の皆さんが絵本「つるがしま物語」にふれ、今の暮らしや文化、地域との関わりについて考え、地域に視点をのいた生活や、地域での共助・協働に関心を寄せていただければと企画しました。

入場は無料ですが、先着150名とさせていただきます。皆さんのお越しをお待ちしています。

問合先 南市民センター TEL 049-287-0235



これから

今：2023年

戦後

戦時中

明治・大正時代

江戸時代

鎌倉～室町時代

古墳～奈良・平安時代

縄文～弥生時代

「つるがしま物語」とは

鶴ヶ島市に残された10万年の歴史をまとめた「絵本」と「資料集」です。

「絵本」は、旧石器時代から未来までを時代ごとに分け、10冊の絵本にまとめました。何歳でも楽しむことができる内容となっています。

「資料集」は、絵本の背景にある史実など、より深掘した内容を掲載しています。様々な立場の方に取材したインタビュー記事も見どころの一つです。

この本は、「はんしん地域活性化助成金（飯能信用金庫）」を活用して鶴ヶ島ロータリークラブが印刷製本し、市内の小中学校や図書館等に寄贈されました。現在、中央図書館や各図書館分室で閲覧することができます。

